

## 地球環境への配慮

地球環境問題は人類共通の課題であるとの認識のもと、気候変動枠組条約などの世界的合意や目標設定の動きを鑑み、ALSOKでは、CO<sub>2</sub>排出量などの具体的な目標を掲げ、環境負荷の低減に努めるとともに、気候変動問題および自然環境保護活動に取り組んでいます。

### 地球環境問題への取り組み

#### 環境マネジメントシステムへの取り組みと環境推進体制の確立

近年、気候変動枠組条約やCOP21での「パリ協定」の採択など世界的な合意や目標設定などの動きが活発化しています。ALSOKでは、地球環境問題に対し、より責任ある企業として事業を推進するために2006年4月に「グリーン調達指針」を制定し、取引先や提携先企業などと相互に協力して、製造、使用、廃棄の一貫した環境保全活動への取り組みを強化してきました。また、環境マネジメントシステムの実効性をより高め、持続可能な社会の実現を目指すべく、2016年に「環境方針」を制定し、ISO14001(EMS)の認証を取得するとともに、環境委員会を中心として環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを回し、全社的な環境対応を推進しています。

組織体制	役割・任務
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境推進計画の審議・承認等</li> <li>ISO14001推進計画の審議・承認等</li> <li>コーポレートガバナンス・コードへの対応に関する取締役会報告骨子の審議・承認等</li> <li>その他環境対応(持続可能性対応含む)で委員長が必要と認める事項</li> </ul>
環境マネジメント部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境推進計画の調査、審議、立案等</li> <li>コーポレートガバナンス・コードへの対応に関する取締役会報告骨子の調査、審議、企画、立案等</li> <li>その他環境対応(持続可能性対応含む)で部会長が必要と認める事項</li> </ul>
ISO14001認証部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO14001推進計画の調査、審議、企画、立案等</li> <li>ALSOKグループにおける統合認証推進計画の調査、審議、企画、立案等</li> <li>その他ISO14001認証取得に関連し部会長が必要と認める事項</li> </ul>

#### グリーン調達指針

ALSOKで使用する警備機器等に関し、資源の有効活用、廃棄物の発生抑制等を積極的に進めるとともに、取引先と相互に協力して、製造、使用、廃棄の一貫した環境保全活動を推進します。

URL : <http://www.alsok.co.jp/company/info/green.html>

#### 環境方針

総合警備保障株式会社は、警備業を中核とした事業を提供するリーディングカンパニーとして、地球環境問題が人類共通の課題であるとの認識のもと、経営理念である「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって、持続可能な社会の実現を目指すべく、環境方針を制定し、環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組めます。

URL : [http://www.alsok.co.jp/company/info/environmental\\_policy.html](http://www.alsok.co.jp/company/info/environmental_policy.html)

### 新たな環境目標の設定

地球温暖化や森林の減少・海洋汚染による生物多様性の喪失など、人類は環境保全上極めて深刻な状況に直面しています。日本政府は「地球温暖化対策計画」において、2030年度の温室効果ガス排出を2013年度比で26%削減する中期目標と、2050年までに80%の削減を目指す長期的目標を掲げています。

ALSOKにおいても、地球温暖化対策の取り組みをより一層強化するために、まずは2021年3月期までのCO<sub>2</sub>排出量を毎年1.4%削減する短期目標と、2031年3月期のCO<sub>2</sub>排出量を2014年3月期比で26%削減する中期目標を策定しました。さらに2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を80%削減することを目指して取り組んでいきます。

#### 2017年3月期までのCO<sub>2</sub>排出削減目標・実績と新たな短期目標



CO<sub>2</sub>排出量の中期削減目標  
2031年3月期において  
**26%削減**  
(2014年3月期比)

SDGsとの  
つながり



### 3Rと使用エネルギーの削減に向けた取り組み

ALSOKでは、全社的に3Rに取り組む、ごみの分別やインクカートリッジ回収への協力だけでなく、機器類のリユース・リサイクルも推進しています。例えば、新横浜のリペアセンターでは、首都圏にある支社の撤去品回収、分別、整備・配送、廃棄・リサイクル処分等を担っています。こうした活動の結果、2017年3月期の全国の支社平均リユース率は約31%となりました。また、各種電源装置に搭載しているニッカドバッテリー(二次電池)の再生利用を推進し、約23,000個を再生するなど、環境負荷の低減に努めています。

また、全国に数多くの事業所(施設)と業務用車両を保有していることから、電力使用量および車両運行に関する燃料使用量



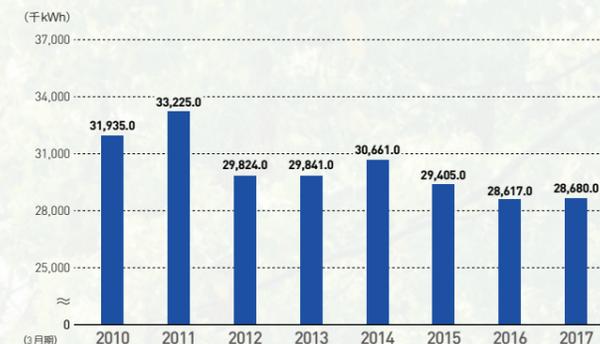
リペアセンターの様子



自転車も積極的に導入

の削減に全社を挙げて取り組んでいます。2017年3月期も、社員それぞれに定着した節電意識に加え、低燃費車、バイクなどの積極的導入、さらには営業員の折衝先訪問ルート効率化や技術員の夜間配置人数の削減による車両走行距離の短縮に取り組まれました。その結果、改正省エネ法のエネルギー使用量の削減基準となる2010年3月期比で燃料使用量は20.0%の削減、電力使用量は10.2%の削減を達成しました。

#### 電力使用量の推移



### Column

#### ALSOKグループの自然保護活動と生物多様性保全へ向けた取り組み

ALSOKグループは、気候変動や自然環境保護の課題解決に向けたさまざまな取り組みを行っています。

低公害車両の導入推進のほか、都市部の移動に自転車を活用するなど、全グループでCO<sub>2</sub>排出削減に努めています。また、森林保護に向けた植樹活動、屋上緑化、花壇の整備などにも取り組み、地域社会の環境保全にも貢献しています。さらには、耕作放棄地の整備や河川・ビーチなどの清掃活動、里山保全を目的とした田植え・稲刈りなど多様なイベントにボランティアとして参加し、美しい自然の保護と多様な生物の保全に取り組んでいます。そのほか、自治体・NPO等が主催する環境活動などへ寄付・協賛を行い、各団体の取り組みを支援しています。

ALSOKは、2017年3月期、独立行政法人環境再生保全機構が、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境面のレガシー、市民参加による環境保全のムーブ

メントの創出」を目的に、スポンサー企業を対象として募った『地球環境基金「特別助成」』に企業第1号として寄付を行い、NGO・NPOの活動を支援し、環境面からも東京2020をサポートしています。



神奈川県江ノ島海岸での清掃ボランティア



青山社長(左)と環境再生保全機構の福井理事長(右)